

トップ>>地域ニュース>>社会

>サイトマップ >お問い合わせ

地域ニュース

ハイリスク妊婦支援の現状学ぶ 岡山大で公開セミナー

産後の育児に不安がありそうな「ハイリスク妊婦」の支援をテーマにした公開セミナー（県産婦人科医会など主催）が17日、岡山市北区鹿田町の岡山大鹿田キャンパスであり、保健師や助産師ら約80人が支援の現状などについて理解を深めた。

同大大学院保健学研究科の中塚幹也教授は、母親による子どもへの虐待を未然に防ぐ狙いで自ら運用に携わり、今年1月に県内でスタートした「妊娠中からの気になる母子支援システム」について講演した。

医療機関と保健所でハイリスク妊婦の情報共有を円滑にするために、従来のシステムより書類を簡素化したことで「匿名での連絡も可能になり、従来より多くの情報が集まっている」と成果を説明。一方で「個人情報保護の観点から全ての情報が現場で生かしているわけではない」などと課題も示した。



写真拡大

参加者がハイリスク妊婦の支援について学んだ公開セミナー

岡山の病院情報

川崎医科大学附属
川崎病院

注目情報

岡山の家
不動産情報

最新ニュース一覧

みんなのウチヨコ!
ウチヨ投稿で商品券GET!
キャンペーン

関連キーワード 個人情報保護 岡山大